



理工学部の学生国際交流組織「STEPs」が オーストラリアでの海外研修を実施

【概要】

理工学部長表彰受賞者で構成される国際交流組織「STEPs」の学生が2023年8月25日～31日にオーストラリアのサザンクイーンズランド大学(University of Southern Queensland : USQ)及びグリフィス大学(Griffith University)などで海外研修を実施しました。

【本文】

理工学部には、学部長表彰を受賞した成績優秀者とその大学院進学者で構成される国際交流組織「STEPs」があります。STEPsは例年海外研修を実施しており、今年度は2023年8月25日(金)～31日(木)にオーストラリアを訪問しました。

訪問1日目(26日)は、オーストラリアの都市ブリスベン周辺のカランビン動物園を訪れ、日本にはないオーストラリア独自の動植物を観察できました。2日目(27日)は、サザンクイーンズランド大学(University of Southern Queensland : USQ)の学生及び教員の方に、大学の所在地であるトゥーンバを案内していただきました。現地の原住民であるアボリジニの歴史的な文化を学ぶことができるコブ・ミュージアムを訪問したり、クイーンズパーク植物園を訪問したりして、学生らはオーストラリアの文化や独特の自然環境を体感することができました。3日目(28日)は、USQのトゥーンバキャンパスを訪れました。学生らはUSQの学生と共に材料力学の講義を受け、ロボット工学や流体力学、モーター遠隔制御研究室などUSQ内の理工学分野の研究室を案内していただきました。さらに、4日目(29日)には、USQのスプリングフィールドキャンパスに行き、午前中はフューチャーマテリアル研究室にてカーボンナノチューブなどの先進的な研究を紹介していただきました。午後からは、USQの国際交流担当の方々と交流会を行いました。その後、ブリスベンへと移動しました。訪問最終日(30日)は、ブリスベンのグリフィス大学(Griffith University)のキャンパスを見学し、AIによる記事分析技術を使って企業分析を行う金融工学研究を紹介していただきました。その後、午後にブリスベン空港からシドニー、羽田を経由して、福岡空港に到着しました。

本研修には、理工学部長の豊田教授、STEPs顧問のカーン准教授、古賀事務員と13名のSTEPsメンバーが参加しました。本研修にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

STEPsでは、国際交流を通して英語によるコミュニケーションスキルや国際的な知識を習得しています。今回の研修は、STEPs創設以来、初めての英語圏の訪問でしたが、学生たちは英語のネイティブスピーカーと英語でコミュニケーションがとれ、日々の学習の成果を実感することができました。今後ともSTEPsをよろしく願います。



サザンクイーンズランド大学 (USQ) での記念写真



グリフィス大学での記念写真